

日中対照言語学会会報 (No.57)

2021年11月8日(月)発行 会報担当:加藤晴子 続三義

目次

- 一. 2021年度理事会拡大会議(2021年10月17日)
 - 二. 第45回大会(2021年度冬季大会)のプログラム
 - 三. 月例会
- ※ 事務局より

一、2021年度第2回 理事会拡大会議議事録

日時:2021年10月17日(土)15:30~17:00

場所:オンライン会議

出席者:13名(敬称略・順不同)

加藤晴子、続三義、彭飛、王学群、竹島毅、白石裕一、橋本幸枝、豊嶋裕子、平山邦彦、于康、余維、丸尾誠、下地早智子

議題:

【審議事項】

1. 第45回大会(2021年度冬季大会)のプログラム(続副会長)

現時点で発表申し込みが3名のみ。引き続き、11月初めまで、参加者を募る。

2. 2022年度学会役員選挙のスケジュール(続副会長)

5月に決定したスケジュールのうち、「2021年10月上旬、選挙権、被選挙権を有する会員数を確定」については、10月末までの会費納入を待つために、「11月初めに確定」に変更する。

選挙委員を加藤晴子、続三義、彭飛、王学群、竹島毅、白石裕一、安本真弓、上地宏一とし、具体的な投票方法の検討を始める。

役員年齢制限については、今後の継続審議とする。

3. 学会誌編集責任者の件(続副会長)

5月に決定した人数7名に基づいて、会長(加藤晴子)、副会長(続三義・彭飛)、事務局長(王学群)、査読委員長経験者(王亜新・平山邦彦・于康)を委員とする。

近日中に編集委員のみで委員会を開催し、「日中対照言語学会編集委員会規程」の「第4条 活動事項」「4. 査読委員長および査読者の選定」から「査読委員長および」を削除することを含め、その他、諸事項を決定する。

【報告事項】

1. 学会誌第24号『日中言語対照研究論集』原稿募集の進捗状況(王事務局長)

17名の投稿があり、うち1名が会員外からの投稿であった。

2. 会費納入の現状(白石理事)

10月17日現在の会員数は278名、うち171名が会費納入済み。

3. 学会誌第23号送付の現状(白石理事)

会費納入済み会員、執筆者、各機関を合わせて193冊を送付済み。

于査読委員長から、会員外査読者への送付が提案され、1冊ずつ送付することとした。

二. 第45回大会(2021年度冬季大会)のプログラム

記

日時: 2021年12月19日(日) 9:20~12:20

会場: オンライン会議

参加費: 無料(会員、非会員共通)

プログラム

総合司会 下地 早智子(神戸市外国語大学)

大会開催挨拶 加藤 晴子(東京外国語大学) 9:20-9:30

研究発表1.

氏名: 顧 彬楠(名古屋大学・大学院)

テーマ: “NP(対象)+VC+VP”構文の語用論的機能に関する一考察 9:30-10:05

研究発表2.

氏名: 許 賢科(名古屋大学・大学院)

テーマ: 中国語の“晚V”と“V晚”の用法に関する考察—談話、文法および語彙の接点—

10:10-10:45

以上司会 劉 羸(九州大学)

休憩(15分間 10:45-11:00)

研究発表3.

氏名: 上田 貴恵(復旦大学・大学院)

テーマ: 日中比較から見る中国語擬態語の特徴 11:00-11:35

研究発表4.

氏名: 劉 洪昊(京都外国語大学・大学院)

テーマ: 日本語の「一字漢語+的」の使い方及び中国語訳の特徴の考察 11:40-12:15

以上司会 犬塚優司(島根県立大学)

閉会の辞 彭 飛(京都外国語大学) 12:15-12:20

閉会 12:20

(発表者の持ち時間は35分、それぞれの発表の間に5分の準備時間を設けてある)

三. 月例会(2021年6月~10月)

日時: 2021年6月19日(土) 17:00~19:00

場所: オンライン

発表者: 李 所成(北京外国語大学)

テーマ: 「てもらう」の意味—中国語との対照を兼ねて—

日時: 2021年7月17日(土) 17:00~19:00

場所: オンライン

発表者: 高 沁雨(千葉大学大学院)

テーマ: 中国語訳文からみた日本語「れる/られる」受身文

—中国語無標受身文・存在文との対照を中心に—

日 時： 2021年9月18日（土）17：00～19：00

場 所： オンライン

発表者： 施 葉飛（中央大学大学院）

テーマ： 補助動詞の用法から見られる文法カテゴリーの関連性
— 「評価的モダリティ」を中心に—

日 時： 2021年10月17日（日）17：00～19：00

場 所： オンライン

発表者1： 王 会欣（名古屋大学大学院）

テーマ： 思考動詞の日中対照研究—「思う」と“想”を中心に—

発表者2： 李 哲（新潟大学大学院）

テーマ： 日本語と中国語における限定を表すとりたて表現の曖昧性と移動性
— 「だけ」と「只」を中心に—

事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会 HP 上で随時受け付けています。申込ができない場合は王学群事務局長（ohgakubun@toyo.jp）、または竹島毅常務理事（sisi@kkd.biglobe.ne.jp）までご連絡ください。年間会費は社会人 4,000 円、院生 2,000 円となっています。
- 2) 毎月の例会の開催は、メールにてご連絡させていただいております。アドレスが不明の方がいらっしゃると思いますので、ぜひお知らせいただきたく存じます。アドレスの変更につきましても、同様にお願い致します。
- 3) 年間会費の納入について
年間会費の納入は、請求書を送付させていただきますので、ご納入のほどよろしくお願い致します。
- 4) 月例会発表者の募集について
月例会での発表をご希望される方は、発表を希望する前の月の末日までに発表テーマに要旨（500 字前後）を添えて、王学群（ohgakubun@toyo.jp）まで御申込みください。

